

南笠東パートナー情報

絆

きずな

第16号

2015年12月15日

南笠東学区  
人権教育推進協議会

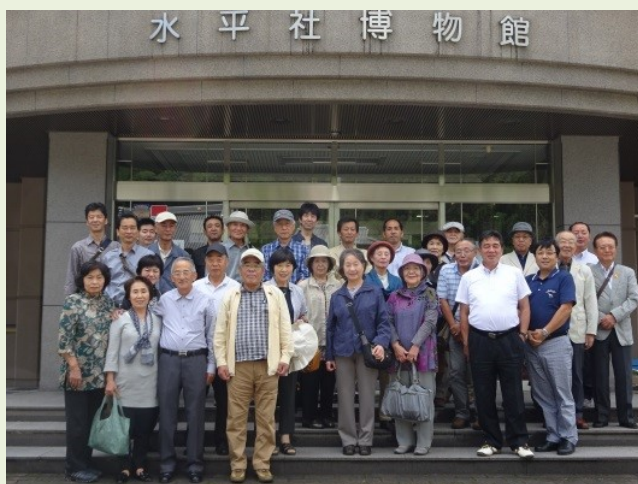
## 南笠東学区人権教育推進協議会の1年のあゆみ



学区人権教育推進協議会総会  
平成27年5月29日(金)



人権講座(小学校PTA・市民センターの共催)  
学区人権教育推進協議会の後援(第3講座)  
平成27年7月2日(木)  
テーマ『心の窓を少し拓いて』  
～好感、共感、親近感が人権力を育む～



館外研修  
平成27年9月19日(土)  
～水平社博物館見学とフィールドワーク～



第4講座(町内学習懇談会推進者研修)  
平成27年9月19日(土)  
テーマ『いのちの尊厳』



## 「話し合い・共感しあえる」地域づくり

会長 川瀬 善行

秋は多くの事業があり、ゆっくりと自分の時間は持てないなかで人権教育の分野もいろんな事業が展開されました。計画を進めて下さった方、ご参加くださった方々に心から御礼を申し上げます。

南笠東学区では、前年度から引き継いだ3つの軸足(町内会組織・市民センター・学校)の連携強化を更に前進させていく方法として、本年度総会で「大切にしたいことを温めていく」ことや「命の大切さ」を日々の生活の中で話し合い・共感しあえる地域づくりを目指そうと呼びかけました。多様化する情報社会のなかであって近隣づきあいの話題にふれ合うことが少なくなったと言われる社会構図のなかでは、むしろ視野を広げて「気持ちが通じ合う仲間や良好な人間関係づくり」に視点を置いてみることも私たちの目指すところではないでしょうか。



## 「人権教育推進協議会館外研修を振り返って」 狼川・笠山老人クラブ 仁平 貞夫

9月19日に奈良県御所市にあります水平社博物館に行き、フィールドワークをしました。

歴史を学び、過去を知り、現在を直視し、将来を考える、改めてこんなことを考えさせられた今回の館外研修でした。

明治4年8月に発布された「解放令」から大正11年3月「全国水平社宣言」が採択されるまで50年余の疎外された被差別の歴史（「えた」という言葉は廃止されたが「新平民」と言われ、差別された）、人権意識の高まってきている現在も存在する部落差別意識等についての理解がより一層深まりました。

人が人としてその人格を重んじられ、平等な扱いを受ける権利が保障されなければなりません。当たり前のことですが、人権意識を高めていくにはいろいろな事象を学習し、理解を深めることが大切なことだと思いました。



## 「狼川町の取り組みについて」

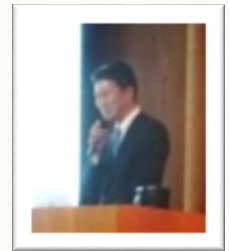
狼川町人権推進委員長 小川 豊

狼川町内会では、例年の町内学習懇談会を11月28日(土)午後7時から町会館で行いました。今年度のテーマは「障がい者の人権」と題して、講師には市の講師団の一人でもいらっしゃいます白井幸則さんをお招きして1時間の講話をいただきました。

講師はこれまでの様々な活動から、人権を意識すること、気づくことには毎日のトレーニングが大事であると強調されました。また、結婚や出自についての厳しい差別の現実についても話題提供がありました。

講話をもとに5つの班に分かれ意見交換を行い、その取りまとめと発表を行いました。3名の市推進協力者を含め44名の参加者でした。

お互いに助け合える町内会でありたいと橋本会長は総括されました。



## 「人権講座に参加して思うこと」

公民館利用者団体代表 竹下 文雄

私達は毎日自らの命をつなぐために自分では殺生しなくても誰かが殺生した牛豚鶏の肉や魚を食べ、人に迷惑を掛け、助けて貰い生きています。

部落差別に関しては明確にエタという言葉が使われていた鎌倉、室町時代から差別意識を記した史料も現れ、起源は古く、今日まで職業や地域を離れても差別は続いている現状があります。

人の誕生は平等・白紙からの出発ではなく、人種・性別・貧富・家柄・そして家庭環境などで異なり、自分の意思で選ぶことの出来ない人生が決定される時代もありました。

人間社会を作るのは人間です。人間社会で生きるためのルールやマナーや感謝の気持ちを持つことが大切です。子どもは親や大人の行動を見て育っています。

人間として今何を学ぶべきかを皆で考える時が来ていると思います。



## 「南笠東小学校の取り組みについて」 南笠東小学校 PTA 人権教育推進委員長 西村 祐佳子

私たち南笠東小学校 PTA 人権教育推進委員会では、人権テーマ別学習会を毎年行っています。今年度は6月、7月、11月の3回行いました。また玉川中学校区人権教育推進委員会事務局も担当しておりましたので、校区からも数多くの方にお越しいただき一緒に学習することができました。

人権とは人と人との関わりです。年間を通じて思いやりを持って行動することの大切さを改めて学んだ年であったように思います。また PTA 活動を通じて周りの方に支えられていることを痛感した1年でした。各講座においてはホッとすることのおみやげを参加者各自が持ち帰っていただけたことと思います。

一年間ありがとうございました。



## 「玉川中学校の取り組みについて」 玉川中学校 PTA 人権教育推進委員長 西田 直子

今年度は『つながり、気づく人権教育～親子のコミュニケーションを通して～』を研修テーマとして取り組みを行うことにしました。人権に触れる上で人と人とのつながりは欠かせないと考え、様々な関わりの中に必ず「気づき」があり、その「気づき」を親子で共有してほしいという思いを込めて、この研修テーマに決めました。

例年は親子で学ぶ場として、6月と11月に講演会を開催していますが、今年度は体育館改修工事のため、講演会は6月のみとし、2～3学期の子どもたちの人権学習を参観していただき、親子の学びと気づきのきっかけを持ってもらおうと企画しました。

6月の講演会は、篠原嘉一先生をお招きして「携帯・スマホ」についてのお話の予定でしたが、前日の豪雨による体育館浸水のため残念ながら中止となり、子どもたちだけでお話を聞くという形での実施になりました。

2～3学期の人権学習参観は今回初の試みでした。学習内容は1年生「障害者理解」、2・3年生「部落問題」についてでした。子どもたちの学びを通して、親子の学び・つながり・気づきを深めるきっかけになったのではないかと考えています。

その他、市などで開催された講演会には人権推進委員が積極的に参加し、その報告を人権だより『きづき』に掲載し、参加できなかった PTA 会員の方にも「人権」に触れていただけるようにしています。

今年度は啓発する立場として十分な活動が出来たとはいえませんが、自身の学びを生かし、さらに深め、子どもに正しく伝えられる親になれるよう今後も努めていきたいと思っています。



## 「町内学習懇談会推進者研修講座(第1・2講座)」 草津市人権センター 西邑 祥明

平成27年7月4日(土)に草津クレアホールを会場に開催しました。

第1講座では、部落解放同盟草津市協議会事務局長の植崎勝美さんを講師に迎えて、『教育・啓発と解放運動について』を演題にご講演いただきました。

第2講座では、関西外国語大学教授の明石一朗さんを講師に迎えて、『心の窓を少し拓いて一好感、共感、親近感が人権力を育む一』を演題にご講演いただきました。

今後も様々な研修講座にご参加いただき、ともに学び合いたいと考えます。



# 人権標語優秀作品

この標語は10月24日(合同フェスタ2015)から12月4日(世界人権週間の初日)まで募集した94点の中から子ども、大人(モデル町、団体含む)の部で選考したものです。



(敬称略)

## 子どもの部

「ありがとう」の一言で ともだちの わがひろがるよ  
 友だちを 一人にしないで たのしくあそぶ  
 思いやり みんなの顔が 花になる  
 ぜったいいじめがあったら とめるぞー  
 友だちは 人生の中の たからもの  
 友達を 思いやる気持ち 大事だよ  
 思いやり みんなでしあうと いい気持ち  
 おもいやり ころころのとびら あけようね  
 あいさつは みんなの笑顔 つくりだす  
 増やそうよ 一人一人の 思いやり  
 思いやり 人の心を あたためる  
 思いやりで すてきな笑顔を 咲かせよう!

西原 滢 (小3)  
 上園 友理 (小4)  
 高木 結香 (小5)  
 大西 璃空 (小5)  
 後藤 恵達 (小5)  
 辻 好花 (小5)  
 不破 稟温 (小5)  
 佐野 梨瑚 (小5)  
 鷗鷯 友莉 (小6)  
 泉 琴巳 (小6)  
 藪内 あゆみ (小6)  
 辻 紅希 (小6)

## 一般の部

差別なし みんな仲良し 南笠東  
 いじめ見て 知らんぷりは いじめと同じ  
 差別とは 人の心の読めぬ人  
 ルーティーン 祈る心は差別ゼロ  
 そんなのおかしいと気軽に言える人間関係  
 やさしさと 勇気ですくう 障がい者  
 なにげなく 手を差し伸べる やさしい心  
 それぞれの 違いを個性と受けいれよう

橋本 頌造(狼川町)  
 笹木 保夫(サプライスクックス)  
 竹下 文雄(サプライスクックス)  
 菱田 洋子(狼川町)  
 小川 豊(狼川町)  
 永野 英夫(狼川町)  
 山本 靖子(狼川町)  
 菅原 知子(狼川町)

## 「実践発表のつどい」のお知らせ

※平成28年2月27日(土)

南笠東市民センターにて行います。



## 市民センター(公民館)年末年始の業務について

※12月28日(月) 通常どおり

12月29日(火)～1月3日(日) 休館

平成28年1月4日(月) 通常どおり

## 編集後記

協議会で行う事業は2月27日に予定する実践発表を残すのみとなりました。「絆」16号では、学区の団体やグループの活動を広く地域の皆様にお知らせをする意味を込めて、タイトルデザインに「パートナー情報」の文字を入れました。

発行時期を例年より早めて12月15日とさせて頂いたところも紙面を通して感じ取っていただければ幸いです。



事務局長 川瀬 孝弘